

9月初めの弥陀ヶ原の野草の花は既にピークが過ぎ、開花中のもはイワショウブ、タテヤマアザミぐらいでしたが、アカモノ実が見事に成熟していました。果実は上向きに実るのでよく目立ちます。（粕谷・自然観猿より）

# 紅葉台



# 新聞

第101号

2023年

10月28日

発行人：関谷 孝

## 遙かなる 北アの山々 紅葉台 3街区 合 津

### (6) 13人の遭難事故死

学生時代のアルバイト先の雲の平はその周囲を「百名山」の数々に囲まれていました。水晶岳・鷲羽岳・三俣蓮華・笠が岳・黒部五郎岳 そして 北アの女王とも称される薬師岳。薬師岳の『東南尾根』は雲の平に向かいその存在を主張するかのようにせりだしてきている迫力十分の山塊でした。

昭和 38 年のこと。なんと その薬師岳 東南尾根で登山パーティの全員死という遭難事故が発生してしまいました。後に 三八豪雪と呼ばれるようになった雪山での惨劇でした。忘れがたい 忘れてはならぬ事例となりました。

### 61 なにが起きたのか

昭和 38 年正月のマスコミ各社は 一斉に遭難事故を報じていました。

「北ア 薬師岳で冬山訓練中の愛知の大学生 13 人が路を間違え東南尾根に迷い込み全員が遭難死」

「原因は 13 人の誰も 地図と磁石を持っていなかった。論外」といったトーンの論調が主流となっていました。

### 62 東南尾根で私も

【写真】スゴ乗越よりの薬師岳

その年の夏 私は例年通り 雲の平山荘のアルバイトに向かうため 立山連峰を縦走し南下 薬師岳を通過するルートをとることにしていました。

薬師岳を目前にしたスゴ乗越小屋で購入した2リットルの水を置き忘れてきたという失態があったか 頂上から太郎小屋へ下り始めたころには 水分不足から意識朦朧となっていました。山路がいやに急勾配になってきました - 立って歩けなくなってきました - しまったこれは例の東南尾根だ - 転がりながら身を回転させて這松林に身を投じて落下を防止。

正式な登山路は途中でやや右折れ。私は ほぼ 美しい夏の薬師岳カール直進してしまい それは東南尾根一断崖絶壁一黒部川へ落下という正月の惨劇の舞台そのものでした。

### 63 悲惨な事故の原因 は

雲ノ平に到着し そのまま足を延ばして本部の三俣蓮華小屋に到着の挨拶へ。【図】薬師岳・東南尾根 概念図

一年ぶりにお会いした小屋主の伊藤

読者投稿です。「東京文化財ウィーク\*」10月28日から11月5日。八王子市・龍見寺の大日如来坐像が10月31日のみ特別公開です。館町になりますので、興味のある方はお出かけになってみてはとのこと。PCで\*を検索するとほかに情報も載っています。文化の秋ですね！

正一さんと 正月に発生した薬師東南尾根の遭難事故が自然と話題となりました。

「冬の薬師の吹雪は すさまじい。自分の腰がみえなくなるほど。地図は役にたたない。夏の薬師で山全体の地形を知っているメンバが不在だったことが一番の原因」。さすがのコメント。その日の昼頃の私自身の体験を ためらいつつ 話題とさせていただいたことを昨日のこのようにおもいだしています。

【写真】美しい夏の薬師岳カール



### この遭難事例からの自戒をこめての教訓

- ① 自然の猛威 ②自然への畏敬 ③マスコミ報道
- ④豊富な経験 ⑤水は必需品 ⑥.....

いかがでしょうか。

### 粕谷和夫の観察日記



9月4日から7日に立山の室堂に行ってきました。ライチョウ観察が主目的でしたが、みくりが池温泉にたっぷり浸かって体を癒しました。室堂平で黄葉したイワイチョウの草紅葉のなかで雷鳥の出現を待ちました。夕日を浴びたライチョウが姿を現しました。見通しが良い状況なので鋭い目つきであたりを警戒しています。（写真上）

ガスがかかってきたら、子供たちも姿を現し、餌を食べ始めました。（写真下）雛は5羽いたが、この写真には2羽が写っています。

♡みくりが池は、雷鳥が良く生息しているので有名です。霧がかかると幼鳥が餌を探しに来るようです。敵から身を守るためです。グッドタイミングでしたね。



立山の室堂で雷鳥の出現を待っていると、野草イワイチョウのくさもみじの上をホシガラスが飛んで来ました。雷鳥に比べ、ホシガラスの方が羽数多かったです。



立山室堂より標高が低い弥陀ヶ原も散策しました。鳥は、ウソとツバメがいたぐらいでしたが、チョウはベニヒカゲがいっぱい飛んでいました。他にキベリタテハ、アサギマダラ、モンキチョウ、スギグロシロチョウ、キアゲ

ハ（幼虫）などにぎやかでした。弥陀ヶ原の池塘にはヒメホタルイが生えていて、草地に咲くイワショウブでベニヒカゲ【写真】が吸蜜していました。